

山梨県歯科医師連盟**連盟ニュース 第38号**

□発行

山梨県歯科医師連盟 甲府市大手 1-4-1
TEL : 055-252-6481 FAX : 055-253-0854□発行人 諸角三千夫 HP : <http://ydca.jp>

□編集人 鶴田 好幸 岩間 宣仁

山梨県歯科医師連盟機関紙

○公職選挙法の規定により御礼の文書を出すことが出来ませんので、ご了承下さい。

『石井みどり氏上位当選』 第23回参議院議員通常選挙結果

第2次安倍内閣発足後、初の大型国政選挙となった第23回参議院選挙は7月21日、投開票され自民党が圧勝。我々の代表自民党公認比例区から出馬の石井みどり氏は、294,148票を獲得し（6年前は228,165票）自民党の比例順位は当選18人中4位となり、医系の候補者の中ではトップの当選となった。

県内においては1,751票（6年前1,667）で自民党当選者の中では6位、全国の比例区当選者の12位であった。なお、山梨選挙区においては山梨県歯科医師連盟推薦の森屋宏氏が142,529票で初当選した。

山梨県歯科医師連盟 第3回 理事会・支部長合同会議開催

7月25日（木）新執行部となって初の理事会が支部長合同で開催された。諸角新会長は挨拶の中で、10年前と比べて連盟活動は地元代表の国会議員（主に政権与党国会議員）とのデンタルミーティングによる意見交換、時局講演の開催の開催、支部長制度の導入など大きく変わってきている。前執行部により大まかな形ができたので、今後連盟のさらなる充実と発展を目指し、事業のスピード化と見直し、又会員増加が喫緊の課題であると述べ、各理事、支部長に協力を求めた。

又、日歯連盟報告の中で6月7日（金）の会長会議、6月28日（金）の評議員会について、「今回の選挙は大変重要な選挙であり、危機感と期待感をもって対応してほしい。現在の歯科界の現状に満足している人は誰もいない。歯科界の存亡をかけた戦いである。又この選挙に勝ち上位当選することにより、より重要なポストが期待でき、歯科界の再構築の為に大きな助けとなる。」という高木日歯連会長の言葉を報告した。

<協議>

1. 新執行部体制について 2. 会員増強対策について 3. その他

又、多くの会員に誤解されている、「公益法人活動と政治団体活動の峻別」について、厚生労働省医政局の通達の文章をもとに理解を求めた。

1. 公益法人が、公益法人の会費に含めた政治団体の会費を同一口座に入金して徴収した場合
2. 単に公益法人と政治団体の住所が同一であることをもってただちに不適切な事例となるものではなく、特定政党の入党申し込み書の宛先を、本来政治団体とすべきところを、公益法人の総務部としているような事例等を意味すること。
3. 公益法人の活動資金と政治団体の政治活動資金の入金、保管、支払等の管理が同一の口座で一体となって行われているような事例を意味するものであること。
4. 単に公益法人と政治団体の住所が同一であることをもってただちに不適切な事例となるものではなく、地方公共団体が公益法人の公益性に着目して減額した賃料で賃貸している建物について、公益法人がその一部を契約に反して継続的に政治団体に使用させることが目的使用外に当たるという趣旨であること。

人を峻別することと誤解されている方が多い。又公益法人が政治活動を行うこと自体が禁止されているわけではないと通達されている。

山梨県歯科医師連盟 新執行部

<執行部>

会 長 : 諸角三千夫
副会長 : 一瀬 明 ・ 初鹿義和
理事長 : 篠原昭夫
副理事長 : 佐藤菊香 ・ 鶴田好幸
理 事 : 藤巻 猛 ・ 近藤高史 (庶務) ・ 古屋延明 ・ 岩間宣仁 (広報) ・ 白井英俊 ・ 桑原幹夫
監 事 : 跡部芳彦 ・ 内藤敏雄

<支部長>

甲府支部 : 小池和人 ・ 東山梨支部 : 筒井治彦 ・ 笛吹支部 : 若月達也 ・ 峡南支部 : 安居尚美
中巨摩支部 : 金丸俊介 ・ 北巨摩支部 : 成島俊治 ・ 南都留支部 : 渡辺芳之 ・ 北都留支部 : 進士省三